

令和5年度
埼玉県新たな地域クラブ活動実証事業
地域ミーティング（成果報告等）
令和5年12月1日（金）：浦和

吉見町吉見中学校との連携事業

NPO法人武蔵丘スポーツクラブ事務局長
武蔵丘短期大学健康生活学科
健康マネジメント専攻 特任教授 太田あや子

本日の内容

1. 令和5年度実証事業の概要
2. 令和5年度吉見中学校と武蔵丘スポーツクラブとの連携事業の詳細
 - 2-1. 事前準備
 - 2-2. サッカー部の活動
第1回の内容、学生の反応、生徒の反応、
指導者の反応
課題
 - 2-3. カヌー教室の活動
内容、課題

令和5年度地域スポーツクラブ活動体制整備事業(運動部活動の地域移行等に向けた実証事業)



1. 令和5年度実証事業の概要



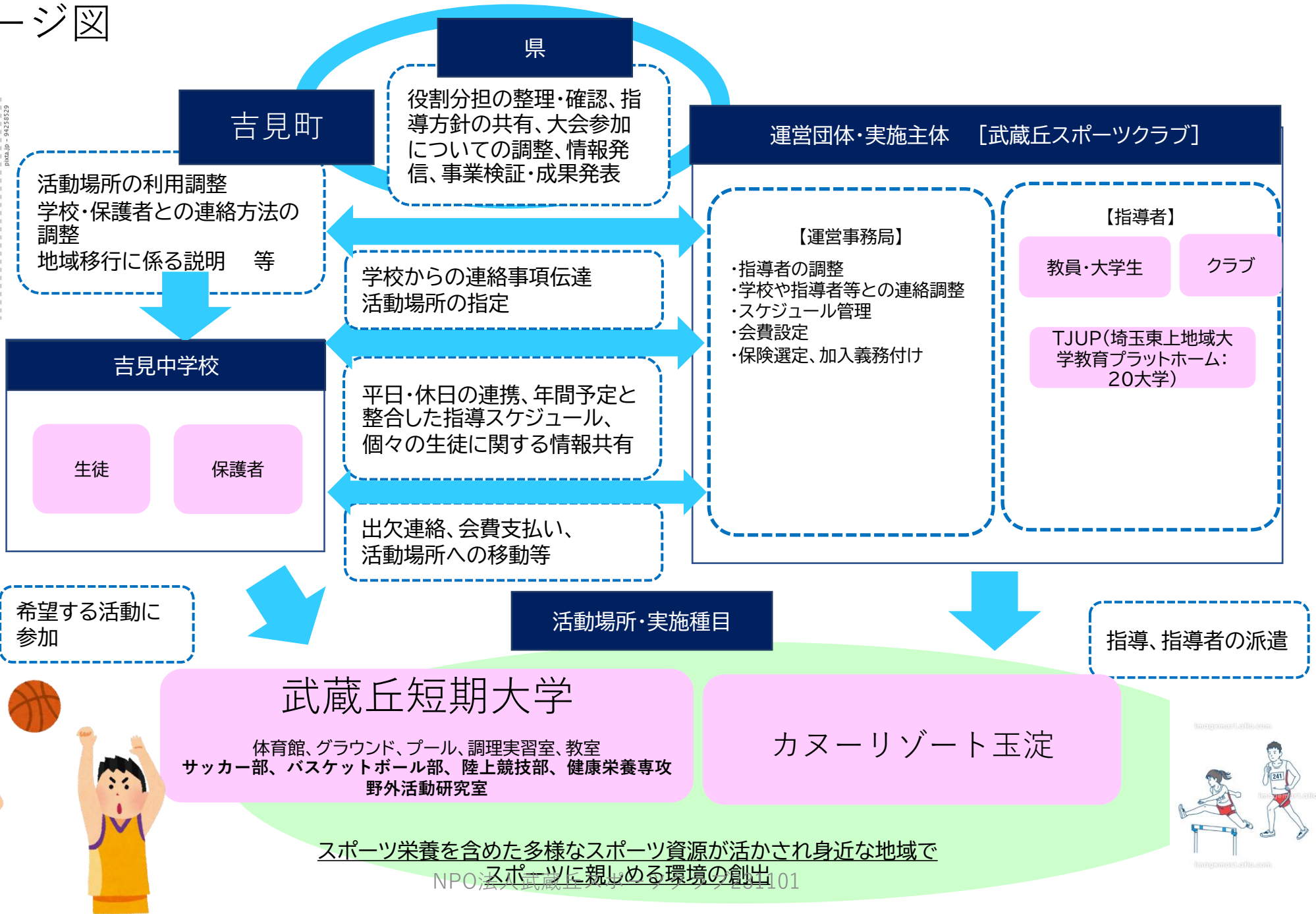
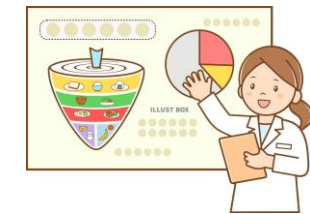
1 取組内容

- (1) 委託事業申請者 特定非営利活動法人武蔵丘スポーツクラブ
- (2) 実施主体：同上 連絡先：埼玉県比企郡吉見町南吉見111-1 武蔵丘短期大学 Tel:0493-54-5101
 - 役割分担 実技指導：武蔵丘短期大学教員
 - 栄養指導：武蔵丘短期大学教員（管理栄養士）
- (4) 活動場所 武蔵丘短期大学（体育館、グラウンド、カヌーリゾートたまよど）
- (5) 活動内容 中学1, 2年生対象
 - ア 曜日・時間：土曜日 午前または午後
 - イ 活動種目：バスケットボール部（女子）4回 12月2日、23日、1月20日、2月17日
 - 陸上競技部（男女）3回 12月16日、1月13日、2月10日
 - サッカー部男子5回 11月18日、12月2日、9日、1月13日、2月3日
 - 野外活動（カヌー教室）（1回：部員以外の参加可）11月19日（日）
 - ウ 有資格専門指導員の指導、大学生との合同練習や体験活動、スポーツ栄養指導（1回）
 - エ 11月から翌年2月までの継続的な活動
- (6) 参加費：スポーツ部活動：初回は無料 2回以降1回500円（都度払い） カヌー教室：千円

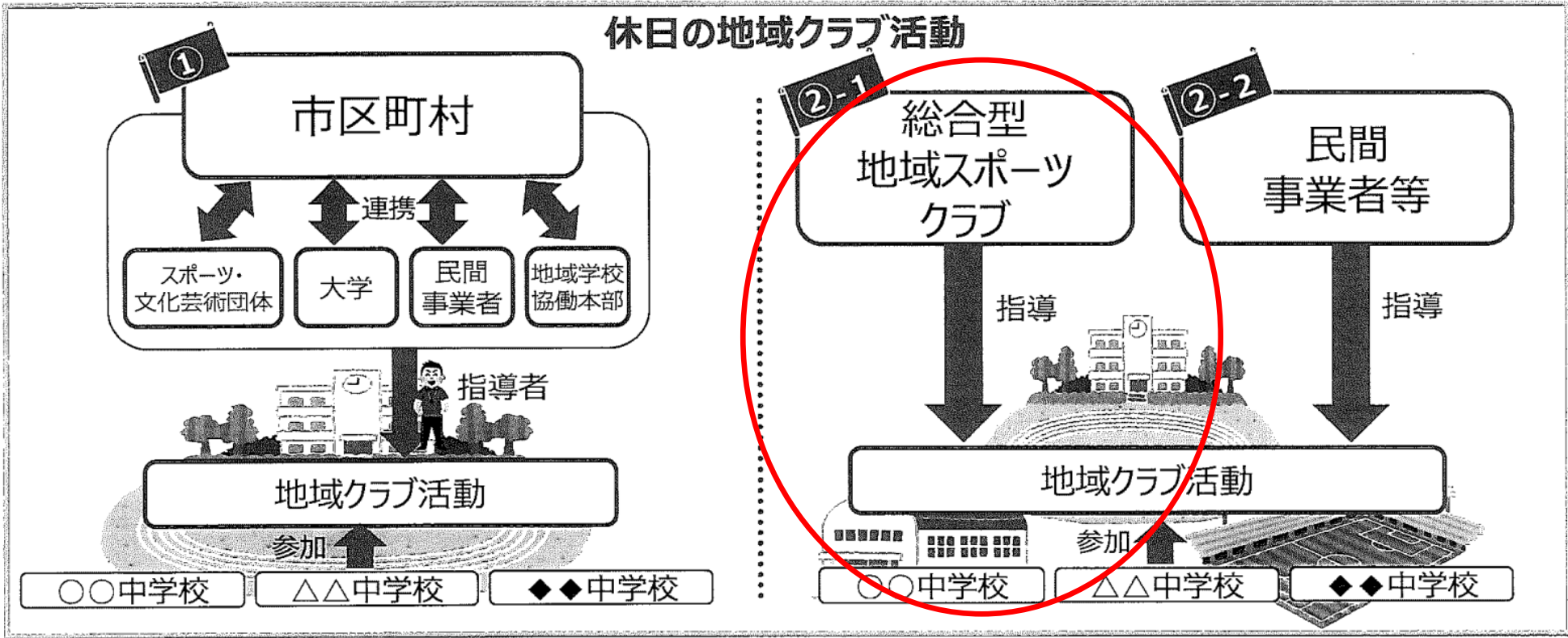
事業イメージ図



picajp - 9423529

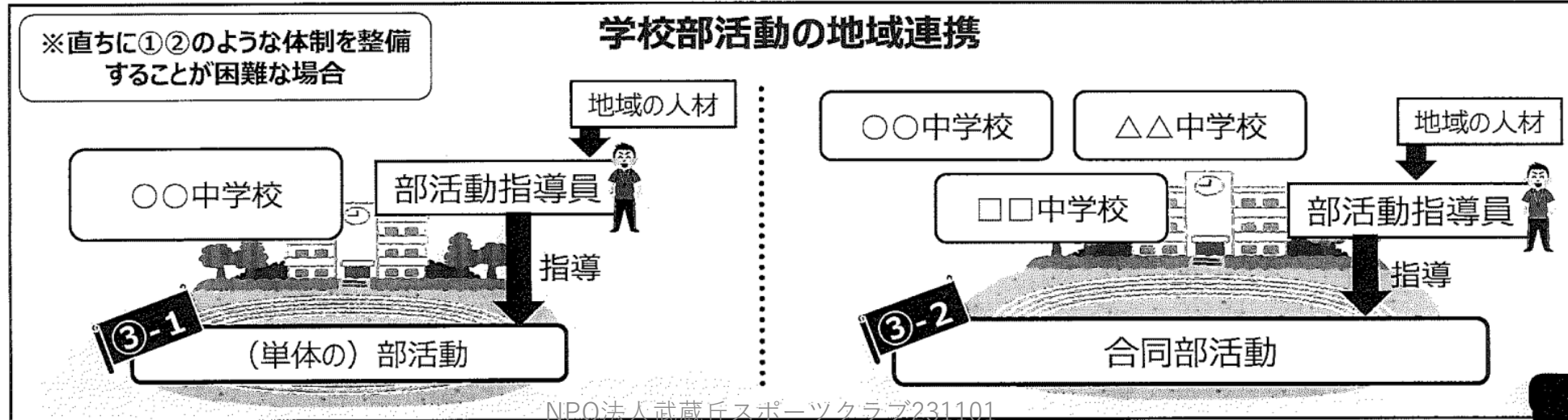


休日の地域クラブ活動



学校部活動の地域連携

※直ちに①②のような体制を整備することが困難な場合



NPO法人武蔵丘スポーツクラブ

設立 平成23年5月9日

代表理事 福島 邦男(ふくしま くにお):武蔵丘短期大学健康生活学科健康マネジメント専攻教授

会員:吉見町民他 79名

活動内容: 武蔵丘短期大学の全面協力のもと、地域自治体と連携して、スポーツ活動や健康づくりを中心に活動している。短期大学の施設、人材を活用してクラブの教室を運営するとともに、地元自治体の委託事業を受託し、毎年10人以上の教員と述べ100名を超える学生ボランティアが活動に参加している。

- ①定期教室(健康ヨガ教室週3回、骨盤ストレッチ教室月2回、女子サッカーチームシンシア週4回)
- ②子どもプール教室(7, 8月):9回
- ③吉見けやき保育所運動指導(月2回)、運動能力測定(春と冬2回)
- ④吉見町生涯スポーツ事業(親子アクティブ教室(5回)、かけっこ教室(2回)、鉄棒・跳び箱教室)
- ⑤吉見町健康づくり事業(介護予防運動、脳トレ、ノルディックウォーキング)

2. 令和5年度 吉見中学校と武蔵丘スポーツクラブとの 連携事業の詳細

2-1. 事前準備

| 時期 | 計画及び実施事項 | 備考 |
|-----|------------------------------|-----|
| 5月 | 第1回検討会議の開催（関係者間の顔合わせ、方針の確認） | |
| 6月 | 拠点地域における実施準備 | |
| 7月 | 短期大学指導者・教授会、中学校関係者との打ち合わせ会実施 | |
| 8月 | 中学校教職員説明会 | 県参加 |
| 9月 | スケジュール調整 | |
| 10月 | 保護者説明プリント、申込用紙配布 | |
| | 短期大学指導者と中学校部活動顧問との打ち合わせ | |
| 11月 | 活動の開始11月19日（土）サッカーから | |
| | 地域・保護者等へのアンケート調査実施 | |
| | 第1回検討会議の開催（進捗状況の報告等） | |
| | 地域ミーティング報告資料作成 | |

2 - 2 土曜日の部活動 in 短大 サッカー部

1. 内容：5回の練習
有資格指導者の指導、 短大生（大学）との合同練習
元選手との練習（交渉中）
2. 期間：11月～平成6年2月までの調整した土曜日
3. 場所：武蔵丘短期大学グラウンド
天然芝サッカー場1面、人工芝フットサルコート2面
4. 経費：1回目は無料
2回から5回まで1回500円（その都度徴収、月謝袋用意）

サッカー指導者紹介

担当講師 1

武蔵丘短期大学健康生活学科
健康スポーツ専攻 助教



武蔵丘短期大学 女子サッカー部

田本 育代 監督

日本サッカー協会公認
A級コーチ ライセンス

武蔵丘短期大学卒業

担当講師 2

武蔵丘短期大学健康生活学科
健康スポーツ専攻 助教



武蔵丘短期大学 女子サッカー部

島田 里緒菜 コーチ

日本サッカー協会公認
C級コーチ ライセンス

鹿屋体育大学卒業
星槎大学大学院在学中
中学校・高等学校保健体育教員免許取得

サッカー指導会場、補助学生紹介

会場：武蔵丘短期大学フットサル場
人工芝2面、サッカー場天然芝1面



補助学生：

武蔵丘短期大学女子サッカー部

シエンシア

関東大学女子サッカーリーグ2部所属

2年生 13名 1年生 16名



第1回の内容 (10:00～12:00)

1. ウォーミングアップ
(中学校、短大とは別々に)
2. 試合：中学校の試合時間にあわせたゲーム
7対0で短大チームの勝利、
中学生のシュートはわずか
3. 指導者からの次回に向けてのコメント



保護者の参観、県の視察があった



大学生選手のアナケートから

1. 感想

- ①良い点：スピードが速い、パスをつなげている
- ②改善点：試合中の仲間同士の言葉がけ
- ③中学生が対戦相手でプレッシャーもあったが、自分たちらしくプレーできた。

2. 中学生に教えたいこと（技術面、フィジカル面）

- ①チームで戦うこと、チームワーク
- ②足元の技術
- ③トラップの質

2 - 3. カヌー教室

実施日：令和5年11月19日（日）

場所：たまよどカヌーリゾート

内容：薪割、火起こし体験

カヌー操船技術練習とカヌーツアー



- ① 準備運動後にライフジャケット装着（正しくつけているかの確認方法）
- ② 陸上でカヌーに乗り、操船のポイント、落ちる姿勢の確認、落ちるのを防ぐ方法、落ちた時の助けてもらう方法を確認
- ③ 乗船、下船の方法の確認
- ④ 湖上に漕ぎ出て、前進、後退、停止、方向転換の練習
- ⑤ ツアーに出発（天候が良かったので上流へのぼり、下流への下りの両コース110分
 - ・ 動植物を観察したり、滝を見に行ったりした

カヌー教室担当講師

担当講師

武蔵丘短期大学健康生活学科
健康マネジメント専攻 教授
福島 邦男（ふくしま くにお）
埼玉大学卒
筑波大学大学院修了体育学修士
小学校・中学校・高等学校（保健体育
教員）免許
キャンプディレクター1級、中級レ
クリエーションインストラクター
取得

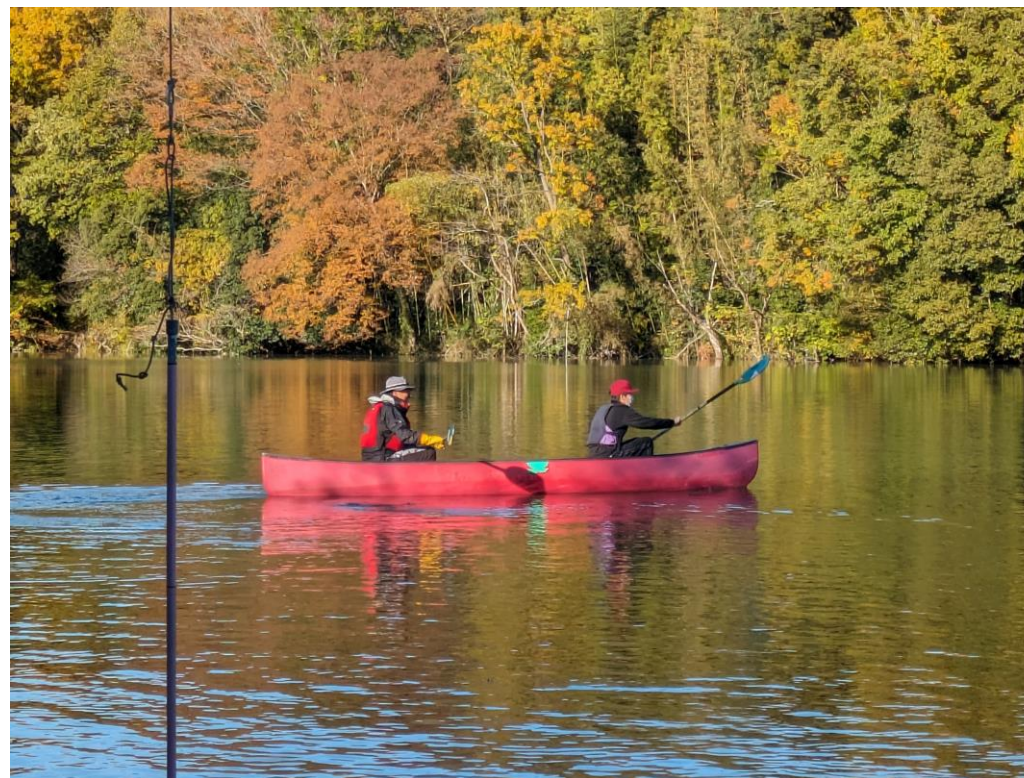


カヌー教室の様子

薪割



カヌーツアー



見えてきた課題

1. 中学校と大学のスケジュール調整
2. 有料（500円）での参加
保護者や中学生の理解が得られるか？
有償化：1時間2,000円×2時間=4,000円の指導料を得るためには
最少でも500円×8名の参加が必要になる。
月2回で1,000円、月4回で2,000円の負担感
今まで無償で指導してきた指導者の違和感
3. 大学側としての課題
リーグ戦などの試合や記録会のピーク時の対応
施設使用料、管理運営
運動部活動指導者や運動部員の理解（今回は協力的）
要望の種目に対応できない場合の対処
4. 地元との連携 行政（教育委員会）、スポーツ協会、スポーツ少年団、チーム